

快適バスルームの作りかた



3 最新の設備を導入

ミストサウナは低温・高湿度で全身がじんわりと潤うのが特徴。シャワーブースはシャワー使用時の汚れが広がらないので、広くなくても浴室のお手入れが楽になると人気。



2 安心安全への心配り

年齢を重ねるほど、バスルームでの事故が気になるところ。特に注意が必要な浴槽周辺に、デザインと調和するよう手すりを設置。日々、安心して入浴できる配慮が欠かせない。



1 スペースを広げる

バスルームが「暗い」「狭い」というのは過去のこと。増築や部屋を減らして、光あふれる空間へと一新するのがトレンド。シャワーブースがあるホテルライクなスタイルも増加。

リノベーションで叶える理想のバスルーム

築30年の住まいを増改築で ホテルライクに

——中嶋邸(川崎市)



リノベーションでここまでできる! バスルーム2例

改築でバスルームにこだわる人が急増中。「いちばん心地よい場所にしたい」という情熱が独創的な浴室空間を生みます。 設計/クラフトスピリッツ



8畳の部屋を開放的なリゾートスパに

中古住宅の採光の確保や間取り変更のために改築。庭を和風にしつらえ、2方向の窓から景色を取り込むデザインに。ラウンド形のバスタブがリゾートの気分を盛り上げる。



中庭とつながるオープンなバス

子どもたちが独立して夫婦二人暮らしになったのを機にリノベーション。バスルームを中庭に面した場所にレイアウトして、開かれていた中庭とつなげて、露天風呂感覚に仕上げた。

増築部分に設けた 広さ約6.7畳の バスルーム

築30年の住まいに増築したバスルーム。ゆったりと体を預けられるバスタブは、「ウエルランド」製。シャワーブースとガラス張りにつながる、広々とした空間が心地よい。設計/クラフトスピリッツ(中村誠孝)

バスルームを「新すれば
住まいが豊かに」

中嶋さんのお宅は一階に自営の会社事務所を備えた三階建て。自宅のドアを開けると、大理石調タイルの洗練された空間が広がります。築30年の住まいをリノベーションしたのは「新築したいと土地を探しましたが、思うような場所が見つからなくて。そこでここを改築して、六〇代を迎えた今後も、安心して快適に暮らせるようにしたいと思いました。依頼したのは高級住宅の設計・施工で知られるアーネストグループ。その傘下のリノベーションを専門に行う「クラフトスピリッツ」は設計とインテリアなどの専門家がチームを組みプロジェクトを担当し、生活を再検証したうえでの上質な空間づくりに定評があります。

「バスルームは外を眺められる広々とした空間にし、ミストサウナを」という中嶋さんの要望に、設計を担当した中村誠孝さんは、バスルーム部分を増築することを提案。鉄骨造の建物を躯体の状態に戻して、延べ床面積約一四八平方メートルを全面改修したのです。

「新築したかのように住まいが新しくなつて、驚きました。しかも新築と比べて工期や工費の負担が少ないのもリノベーションの魅力。ゆったりとくつろげるバスルームは、時間を忘れてリラクセスできます」